

# 南房総市 × 千葉工業大学

# 産学協働地域活力創造推進プロジェクト

## 里海資源利活用PJ 富山地区

【担当教員】生命科学科 五明 美智男 教授  
 【担当学生】五明研究室所属学生  
 【事業期間】2018年度～継続中

大学、学生等と多くの市民、団体との連携・協働を活性させ里海資源を保全し利活用に資する地域に根ざした人材を育成するプロジェクト。

## 学び舎「じんべゑ」

南房総市大井602

旧丸山町大井区の築100年以上の古民家  
 丸山地区大井区における、千葉工大生の滞在施設及び研究活動拠点として利用中



## 里山資源利活用PJ 丸山地区

【担当教員】情報ネットワーク学科 中川 泰宏 助教  
 プロジェクトマネジメント学科 加藤 和彦 教授  
 地域コディネーター 青木 秀幸 非常勤講師  
 【担当学生】中川研究室、加藤研究室所属学生  
 【事業期間】2021年度～継続中

里山資源の保全と利活用を目指した取組を展開することで地域に根ざした雇用創出、若者定着の契機を促すプロジェクト。

## 地域課題解決アプリ・システム開発PJ

市内全域

【担当教員】情報ネットワーク学科 中川 泰宏 助教  
 【担当学生】中川研究室所属学生  
 【事業期間】2017年度～継続中

大学の持つ技術・知見を活かし、学生の熱意とアイデアで地域課題解決に直結するアプリ・システムの開発を行うプロジェクト。

## 知的公共サービス開発PJ

市役所内

【担当教員】知能メディア工学科 今野 将 教授  
 【担当学生】今野研究室所属学生  
 【事業期間】2020年度～継続中

公共サービスを対象として、AI技術を有効活用した新サービスを開発し、市民へのサービス向上を目指すプロジェクト。

## 地域創生活動の連携促進PJ

市内全域

【担当教員】プロジェクトマネジメント学科 関 研一 教授  
 【担当学生】関研究室所属学生  
 【事業期間】2019年度～継続中

市民、事業者、行政、大学等の各セクターによる地方創生活動の有機的な連携を通して、産官学協働活動の付加価値向上を目指すプロジェクト。

## 水循環システム開発PJ

白浜地区

【担当教員】生命科学科 村上 和仁 教授  
 【担当学生】村上研究室所属学生  
 【事業期間】2021年度～継続中

南房総の広大な砂浜に無数に存在する貝殻を地域未利用資源として、水環境改善に利活用するための研究開発を行うプロジェクト。

## 人材育成支援PJ

市内全域

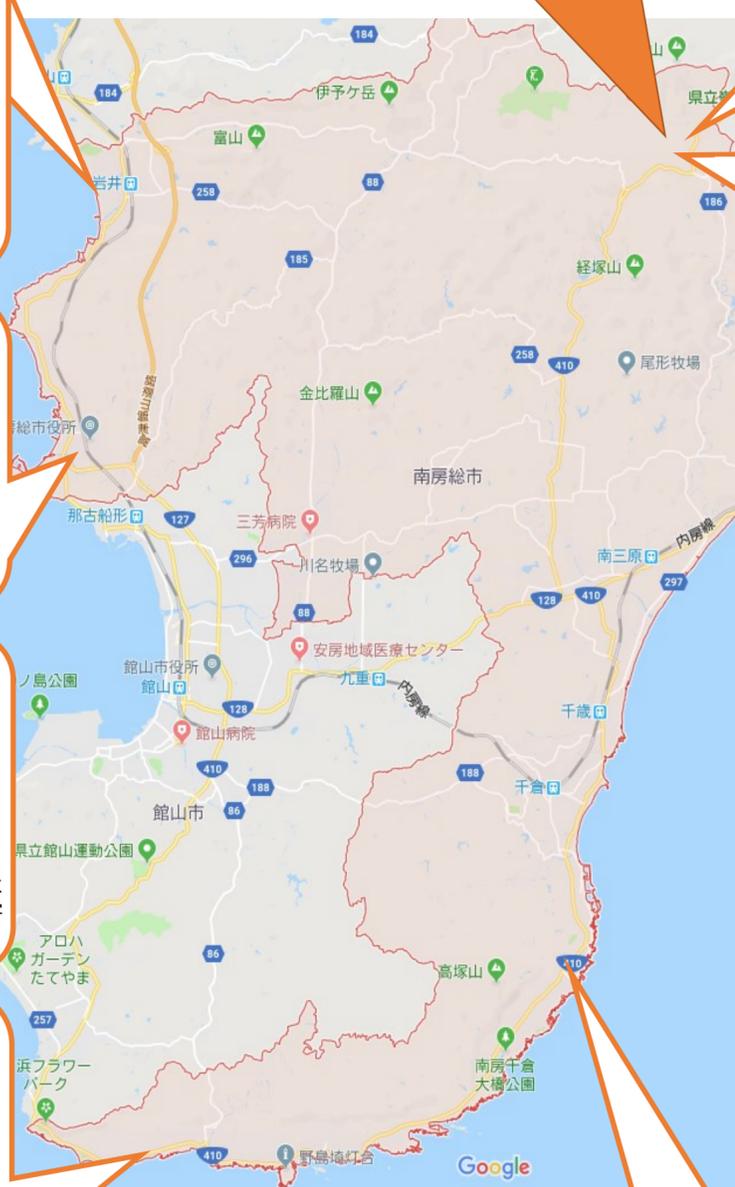


【担当教員】プロジェクトマネジメント学科 加藤 和彦 教授  
 デザイン科学科 大嶋 辰夫 准教授  
 情報ネットワーク学科 中川 泰宏 助教  
 【担当学生】加藤研究室、大嶋研究室、中川研究室所属学生  
 その他各サークル参加学生  
 【事業期間】2015年度～継続中

地域の空き公共施設の有効活用と地元小中高生の人材育成とを繋ぐ目的でスタートしたが、現在では地域課題を創造力で解決する地域に根ざした人材の育成を目指すプロジェクトに発展している。千葉工大の強みである科学技術教育・研究のノウハウを活かした豊富なコンテンツの作成に取り組んでいる。

### 【これまでの成果】

南房総市の空き公共施設（旧長尾小学校・旧白浜観光案内所）などを利用し、市内在住の児童・生徒向けの科学体験イベント「オープンLab」を実施。更に白浜フローラルホールを利用して「わくわく科学技術体験講座」を多数の千葉工科大学内サークルと共に実施した。昨年度からのコロナ禍にあっては、「オンラインわくわく科学講座」として活動を継続している。



## 持続可能な集落創造PJ

丸山地区

【担当教員】都市環境工学科 鎌田 元弘 教授  
 都市環境工学科 磯野 綾 助教  
 建築学科 藤木 竜也 准教授  
 情報ネットワーク学科 中川 泰宏 助教  
 プロジェクトマネジメント学科 加藤 和彦 教授  
 【担当学生】鎌田研究室、加藤研究室、中川研究室、磯野研究室所属学生  
 【事業期間】2017年度～継続中

丸山地区大井区をモデル地域として、地域が望む将来像に合わせた新たな地域運営の仕組みづくりと次世代のリーダー発掘・育成を行い持続可能な集落の形成を目指すプロジェクト。地域課題に対して大学生が様々な活動の原動力として地域に関わる一方で、大学にとっては、地域研究の知見の蓄積に繋げることができ、「定住人口」と「関係人口」との関わりの中で持続可能集落の実現に取り組んでいる。

### 【これまでの成果】

現地に活動拠点（学び舎「じんべゑ」）を整備し、地域の様々な課題を大学生との共通課題に解釈し直し、自分事として地域と大学との関係構築を図った。その一例として、学生が地域のニーズを整理し、地域協働で「どんど焼き」が実施された。



## 地域の新たな担い手育成PJ

市内全域

【担当教員】地域コディネーター 青木 秀幸 非常勤講師  
 【担当学生】科目ボランティア参加学生、各サークル参加学生  
 【事業期間】2017年度～継続中

大学生と市民との交流をとおして大学生（関係人口）の地域貢献意識と市民の地元愛の向上を図り、関係人口と市民との協働により地域活力を再生・創造させるプロジェクト。

## 地域産業資源発掘（カレンデュラ）PJ

白浜・千倉・和田地区

【担当教員】デザイン科学科 赤澤 智津子 教授  
 教育センター化学教室 南澤 磨優寛 准教授  
 【担当学生】赤澤研究室、南澤研究室所属学生  
 【事業期間】2017年度～継続中



日本一の生産量を誇る南房総市産キンセンカを軸とした地域ブランディングを目的とし、加工商品、食用化商品のパッケージやパンフレット、販売店舗のブースなどに至るまでのトータルデザインをプロデュースすることで「南房総市 カレンデュラ」としてのブランド化を目指すプロジェクト（カレンデュラ=キンセンカのハーブ名）。カレンデュラ抽出物の成分分析等を行ない、新たな価値創造にも取り組んでいる。

### 【これまでの成果】

地域ブランドの確立へ向け、商品そのものから販売経路に至るまでの調査を行い、基本方針の決定と一部商品や販売ブースのデザインを試作している。また、カレンデュラ抽出物を用い皮膚恒常性の維持を目指した、新たな機能性化粧品開発の予備実験を完了している。